

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



明日につなげるために！

目も4年に1度のチャンスにかける熱い思いを感じることが出来ます。2月22日まで開催される予定ですが、結果も大切ですがひとりひとりが力を存分に発揮してほしいと願っています。観戦を楽しんでいきます。

連日熱戦が報じられているミラノ・コルティナオリンピックです。開催地のイタリアと日本の時差が8時間あり深夜から早朝にかけてテレビ放送をされるため寝不足の方がいるのではないかと思います。どの種目も4年に1度のチャンスにかける熱い思いを感じることが出来ます。2月22日まで開催される予定ですが、結果も大切ですがひとりひとりが力を存分に発揮してほしいと願っています。観戦を楽しんでいきます。

さて、逃げる月2月も中盤です。北小では来年度を見据え、これまで6年生が受けもつてきたことを少しずつ5年生や4年生が引継ぎつつあります。縦割り活動や委員会活動などは3月になると5年生がリーダーとなり活動を進めます。6年生がいる間に行うことと活動をスムーズに引き継ぐためです。その他の学年も学習や生活においてしっかりとまとめを行うのと同じように次の学年を見据え、目標を明確にするときでもあります。今の自分ができることは何か、課題は何か、その学年なりに考えることが大切になってきます。そこで必要になるのが“メタ認知力”です。メタ認知とは、自分の認知を認知することです。認知とは、考えていることや感じていること、記憶や判断の傾向などを第三者視点からみることをいいます。簡単に言うと自分を正しく知る力ということになるのかもしれませんが、最適な行動ができていくか、知識があるかどうかをしっかりと確認する力がつくことで学習で力がつくのはもちろんのこと、友達関係も良好になると言われています。2月そして3月になり、学年のゴールが見え始めた今の時期は、メタ認知力を高める良い機会でもあります。そのことがよりよい来年度の成長につながると考えます。学校では積極的に振り返りの機会も設けていきます。



これまで6年生がリーダーとなって進めてきた縦割り活動も5年生へと引き継がれていきます。しっかりと5年生へ引き継いでほしいと思います。

良い聴き手を育てる！

今年度の学習もまとめの時です。どの学年も集中して学習に取り組んでいる児童が多いです。先日は1年生の教室から元気に発表をする声が聞こえてきました。みんなの前で自分の考えたことを堂々と発表していました。発表をする児童も素晴らしかったのですが、何より発表を聴く児童の態度が素晴らしかったです。共感的な姿勢や発言、はげましの言葉など、素晴らしい聴き手が育っていました。話したくなるやわらかい学級の雰囲気があるため、子どもたちも安心して話したり聞いたりする学習を行っていました。どうしたら安心感のある雰囲気が出ているのか考えてみると、この学級では日頃から子どもたちがよく返事をしているということに気づきました。この返事が、言われたことにしっかりと反応することにつながり、反応されることで話をしっかりと聴いてもらっているという安心が出ているのだと思います。

知識伝達のほとんどが先生から行われる小学校では、学習の多くの時間は話を聴くことになります。学習が苦手な子ほど、話を聴くことも苦手です。つつい発言をしたり、別のことに気がいたりします。しっかりと正確に聴く姿勢やその意識をもつことはとても難しいです。この聴く姿勢が身につかないと、話す力ももちろん育ちません。“聞く”ことから、“目と耳と心で聴くこと”ができれば、必ず学習事項も身に付きます。“まとめの2月、話がしっかりと聴けるよう指導するよう学校全体でも確認をします。

